

平成26年度 自己評価 [分掌総括]

項目	具体的な計画の目標	成果状況・評価結果	改善点・向上策
組織力向上と学習指導	1 運営委員会や教科会議・各種委員会の定例化と内容の充実	<p>学校運営・学校行事が円滑に行われるよう、企画・運営・資料作成とともに、任務分担を適切な時期に実行した。教科会議の内容をより充実させ、授業力の向上を目指した。</p> <p>評価： A (B) C D</p>	<p>学校行事の精選ができ、日程・頻度等円滑に実践されているが、内容の充実と向上をめざし、より生徒の伸長が期待できるものになりたい。</p>
	2 指導力向上のための取組みの充実	<p>学年単位で授業見学会を学期に1～2回程度行い、事後研修の充実を図った。また、シラバスの形式を確立し、各教科に見直しや検討をし、完成させる。保護者向けの授業公開を2回(6月・11月)実施した。</p> <p>評価： A (B) C D</p>	<p>より授業力を高める研修や見学会を定例化させていく。平成27年度から、このシラバスを活用するとともに、点検を行う。</p>
	3 キャリア教育の充実	<p>進路指導目標のひとつで、1・2学年、3・4学年、5・6学年の三段階指導体系の確立をめざし、発達に応じたサポートをする。HRの内容を充分検討し、学年で指導の統一をめざす。</p> <p>評価： A (B) C D</p>	<p>生徒の多様な進路希望の実現をサポートする為に機会(行事等)を多く提供する。生徒一人ひとりにきめ細やかな指導ができる校内組織を強固にする。</p>
進路指導	1 大学入試に向けたモチベーションアップの方策の検討(低学年次からの難関大への意識づけ)	<p>継続の取り組みとして、中学3年生全員を対象に名大訪問、京大訪問を実施した。希望者を対象に東大OCツアー、東大金曜講座、医系進学者育成プログラムなどを実施。実施2年目となった「医系進学者育成プログラム」については、外部からの反響も大きく予定よりも2回多い全12回の実施となった。「最難関国公立大学突破プログラム」は予定の3回を実施することができた。今年度より新規に最難関国公立大学突破プログラムを実施。</p> <p>評価： (A) B C D</p>	<p>進学実績の向上のためには、学力育成は当然必要であるが、意識や目的などの見えない力を育成することも同様に重要であると考え。今後も積極的にモチベーションアップに繋がる取り組みを続け、様々な行事・体験を通して各自の進路についてより深く考える機会を実施していく。</p>
	2 新課程入試に関する情報収集して、対応策を検討する	<p>新課程入試初年度で、センター試験や各大学の個別試験等で多くの変更点があったが、予備校などからの情報を基に迅速に対応することができた。センター試験本番では試験会場の分割や理科の得点調整等があったが、これらも大きな問題にはならなかった。</p> <p>評価： (A) B C D</p>	<p>新課程入試2年目を迎える次年度は、今年度に出た問題点の修正や改善など様々な変化が起こると予想される。また、センター試験に替って数年後に導入が検討されている新テストについての動きも加速化しており、これまで以上に精力的に情報収集をしていく必要がある。</p>
	3 各模擬試験実施後に振り返りシートの活用をし、生徒へきめ細やかなサポートをする	<p>全教員へ結果集約・周知の迅速化をめざし、全体概況を記載した学年用シートのみに変更したが、目標達成とはならなかった。分析結果をもとに指導法の検証などを行った教科や学年でほとんど実施されたが、まだ充分とは言えない。</p> <p>評価： A (B) C D</p>	<p>各学年の模試結果を全教員で共有すること、分析結果から学年や教科で課題を確認することは重要と考える。教科会議等で模試結果をもとに指導法の再検証をし、センター試験得点アップに繋げていく。</p>

平成26年度 自己評価 [分掌総括]

項目	具体的な計画の目標	成果状況・評価結果	改善点・向上策
人権教育・教育相談	1 生徒にかかわる人権教育の推進	<p>人権授業研究発表は「仲間づくり」、「ケガレ意識の払拭」、「視覚障害者の人権」、「未来の自分づくり」をテーマとして行った。3学期には講師を招いて「インターネットに関する人権問題」の人権学習を実施したほか、委員会活動では人権に関する本の紹介を行った。</p> <p>評価 : A (B) C D</p>	<p>全校生徒対象のアンケートの実施・集計や人権学習の資料提供、助言者、講師紹介などを進め、学級経営や人権学習の質を高めるための協力をしていく。外部との連携も深めていきたい。</p>
	2 効果的な教職員の研修の実施	<p>夏休みには今年度の人権フィールドワークとして三重県人権センター、三重県総合博物館、松阪市の松浦武四郎記念館などを訪れた。「在日外国人の人権」をテーマとした人権研修を行った。</p> <p>評価 : (A) B C D</p>	<p>人権教育や教育相談は、常に新しい情報を得ることと、幅広い角度からの知識が求められる。次年度も偏らない内容で生徒へも還元できるような内容で計画していきたい。研修会は積極的に参加したい。</p>
	3 教育相談の充実	<p>人権室利用の生徒やその保護者との対応を、養護教諭や学年と連携し一つ一つ丁寧に行った。少しずつだが、生徒は教室へ戻り、学級での活動ができるようになった。</p> <p>評価 : (A) B C D</p>	<p>教育相談に関する問題は減ることはなく、これからも増え続けることが予想される。辛い思いをしている生徒に対し、保護者、教員、関係者が同じ方向を向いて支援できるよう、頻繁に情報交換を続けていきたい。</p>
	4 家庭・地域・関係機関との連携	<p>引き続き学校内外の関係者、関係機関と連携し、生徒一人一人のケースに対応してきた。人権教育面では、三重県人権センターや鈴鹿市・亀山市社会福祉協議会、鈴鹿市教育委員会、神戸中学校とも連絡を取り合い研修や会議、フォーラムに参加した。</p> <p>評価 : (A) B C D</p>	<p>生徒・保護者が大きな不安感など問題を抱えてしまうことが多く、対応には慎重さと迅速性が求められる。生徒・保護者の不安を少しでも払拭できるように関係機関との連携を強めていきたい。</p>
生活指導	1 制服の正しい着用と挨拶の励行と基本的生活習慣の確立	<p>生活指導部と学年団が連携をしながら「身だしなみの考え方、実践」を指導する。生徒会を中心に挨拶運動を行った。のぼりも作り強化する。</p> <p>評価 : A B (C) D</p>	<p>学年・クラスによって指導の強弱をなくす努力をする。</p>
	2 時間を守る指導の強化	<p>遅刻した生徒には必ず理由を聞くようにしており、遅刻者が減少している。毎週月曜日は、ノーチャイムディを実施した。</p> <p>評価 : A (B) C D</p>	<p>常習者の指導が必要である。学年との連携を密にする。</p>
	3 交通安全指導の充実	<p>年度初めに交通安全教室を開き啓発に努めた。登下校時は、駅周辺、農道を中心に生指のメンバーで声掛けをし、指導にあたった。</p> <p>評価 : A (B) C D</p>	<p>自転車の乗り方や交通安全マナーに関するホームルーム指導の機会を増やす。</p>

平成26年度 自己評価 [分掌総括]

項目	具体的な計画の目標	成果状況・評価結果	改善点・向上策
その他	1 広報活動の充実	<p>説明会等においては、教職員は協力的で、積極的に広報していく意識を持っており、学校の力となっている。HP等を活用し、学校の情報をもっと外に流すことが課題である。</p> <p>評価 : A (B) C D</p>	<p>公開授業・各種行事の一般公開なども実施し、「本校のアピール」という共通理解のもと進めて行く。現場の熱意、協力体制を減少させないように、タイムリーな情報発信を心がける。可能な限り、アイデアは即実践。</p>
	2 PTA活動の充実	<p>定期的に役員会や部会を開催し、広報誌発行、バザー、講演会など定例の行事を実施した、6月には初めての行事である「鈴6発見デイ」(校内清掃活動)を100名規模で実施することができた。</p> <p>評価 : (A) B C D</p>	<p>役員選出は、各学年の保護者にまんべんなく役員をしてもらえるように調整が必要である。</p>

平成26年度7月実施 学校関係者評価 [保護者対象] ○を付けてください			満足度A そう思う	満足度B ややそうは思 わない	満足度C そうは思わな い
1	教育目標	学校の教育目標が保護者や生徒に明確に示されて建学の精神である「誠実で信頼される人に」の人間形成がはぐくまれている	85	14	1
2	学習指導	学習指導において生徒一人ひとりの能力に応じた適切な指導をしている	78	18	3
3	進路指導	学年に応じた進路指導が充実している	87	11	2
4	生活指導	基本的な生活習慣や社会のルール・マナーを身につけられるような指導が行われている	77	22	1
5		一人ひとりの生徒の様子を常に把握し、悩みや相談に親身になってのってくれる	80	17	3
6	学校生活	学校行事やクラブ活動などで、生徒の活躍できる機会が多い	81	15	4
7		保護者の意見を真摯にうけとめ、親切に物事に対応してくれる	85	12	3
8	教育環境	安心・安全で満足のいく施設・設備である	81	15	3
9	家庭との連携	学校からの情報はホームページや通信等で十分に保護者に伝わっている	83	14	3
10		PTA活動が活発である	80	18	2
11	満足度	子どもを入学させてよかった	89	7	4

数値は、%

平成26年度 第2学期末(12月)実施 学校関係者評価 [保護者対象]			満足度A そう思う	満足度B ややそう思わない	満足度B 思わない
1	教育目標	学校の教育目標が保護者や生徒に明確に示されて建学の精神である 「誠実で信頼される人に」の人間形成がはぐくまれている	84%	14%	2%
2	学習指導	学習指導において生徒一人ひとりの能力に応じた適切な指導をしている	77%	20%	3%
3	進路指導	学年に応じた進路指導が充実している	76%	21%	3%
4	生活指導	基本的な生活習慣や社会のルール・マナーを身につけられるような指導が行われている	74%	21%	5%
5		一人ひとりの生徒の様子を常に把握し、悩みや相談に親身になってのってくれる	77%	19%	4%
6	学校生活	学校行事やクラブ活動などで、生徒の活躍できる機会が多い	71%	26%	3%
7		保護者の意見を真摯にうけとめ、親切に物事に対応してくれる	81%	16%	3%
8	教育環境	安心・安全で満足のいく施設・設備である	80%	18%	3%
9	家庭との連携	学校からの情報はホームページや通信等で十分に保護者に伝わっている	76%	20%	3%
10		PTA活動が活発である	74%	23%	3%
11	満足度	子どもを入学させてよかった	82%	16%	2%

※6年生を除く